

| 東京工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成30年度(2018年度) | 授業科目 | 創造電気実験Ⅲ |
|--|--|---|---|---------|
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0148 | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 実験・実習 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 4 | |
| 開設学科 | 電気工学科 | 対象学年 | 4 | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 4 | |
| 教科書/教材 | | | | |
| 担当教員 | 綾野 秀樹,伊藤 浩 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 創造電気実験の総まとめとして、これまで得た知識や技術を使って、3名程度のグループ毎に設定する独自の製作目標に挑戦し、その成果を発表する。前期はFPGAを用いたステートマシンの設計製作、後期は1チップマイコンを用いたシステムの設計製作を行う。 | | | | |
| ループリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 評価項目1 | 座学で得た知識を応用しながら主体的に実験を遂行できる。 | 協調性を持ちながら実験を遂行できる。 | 実験を遂行できない。 | |
| 評価項目2 | | | | |
| 評価項目3 | | | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| JABEE (d) | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 創造電気実験の総まとめとして、これまで得た知識や技術を使って、3名程度のグループ毎に設定する独自の製作目標に挑戦し、その成果を発表する。前期はFPGAを用いたステートマシンの設計製作、後期は1チップマイコンを用いたシステムの設計製作を行う。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | デジタル回路、電子計算機、制御工学、デジタル信号処理、電気回路、パワーエレクトロニクスが関連科目になるが、最終課題を提示し、自ら調査、設計していくPBL方式で実施する。 | | | |
| 注意点 | ①実験報告書は指定日に提出すること。また、やむを得ず遅刻、欠席する場合は速やかに担当教官に連絡すること。 ②実験時間だけの取り組みでは時間不足となるので、調査等の事前に準備できることは、自学自習にて予めしておくこと。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 ガイダンス, CADの使用法, 電子ロックの設計1 | 5回目までに電子ロックの課題を解決する。 | |
| | | 2週 電子ロックの設計2 | 5回目までに電子ロックの課題を解決する。 | |
| | | 3週 電子ロックの設計3 | 5回目までに電子ロックの課題を解決する。 | |
| | | 4週 電子ロックの設計4 | 5回目までに電子ロックの課題を解決する。 | |
| | | 5週 電子ロックの設計5 | 5回目までに電子ロックの課題を解決する。 | |
| | | 6週 野球ゲームの設計1 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 7週 野球ゲームの設計2 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 8週 野球ゲームの設計3 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | 2ndQ | 9週 野球ゲームの設計4 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 10週 野球ゲームの設計5 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 11週 野球ゲームの設計6 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 12週 野球ゲームの設計7 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 13週 野球ゲームの設計8 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 14週 野球ゲームの設計9 | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。 | |
| | | 15週 野球ゲームの設計10 プレゼンテーション | 15回目までに野球ゲームの課題を解決する。成果発表により説明する能力を身につける。 | |
| | | 16週 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 H8マイコンを用いた設計1 基本プログラムの作成と動作確認 | 4回目までに基本プログラムの作成と動作確認の課題を解決する。 | |
| | | 2週 H8マイコンを用いた設計2 基本プログラムの作成と動作確認 | 4回目までに基本プログラムの作成と動作確認の課題を解決する。 | |
| | | 3週 H8マイコンを用いた設計3 基本プログラムの作成と動作確認 | 4回目までに基本プログラムの作成と動作確認の課題を解決する。 | |
| | | 4週 H8マイコンを用いた設計4 基本プログラムの作成と動作確認 | 4回目までに基本プログラムの作成と動作確認の課題を解決する。 | |
| | | 5週 H8マイコンを用いた設計5 ディジタルフィルタの設計と評価 | 9回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |
| | | 6週 H8マイコンを用いた設計6 ディジタルフィルタの設計と評価 | 9回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |
| | | 7週 H8マイコンを用いた設計7 ディジタルフィルタの設計と評価 | 9回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |
| | | 8週 H8マイコンを用いた設計8 ディジタルフィルタの設計と評価 | 9回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |
| | 4thQ | 9週 H8マイコンを用いた設計9 ディジタルフィルタの設計と評価 | 9回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |
| | | 10週 H8マイコンを用いた設計10 DCモータの速度制御システムの設計と評価 | 14回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |
| | | 11週 H8マイコンを用いた設計11 DCモータの速度制御システムの設計と評価 | 14回目までにディジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 | |

| | | | | |
|--|--|-----|-------------------------------------|--------------------------------|
| | | 12週 | H8マイコンを用いた設計12 DCモータの速度制御システムの設計と評価 | 14回目までにデジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 |
| | | 13週 | H8マイコンを用いた設計13 DCモータの速度制御システムの設計と評価 | 14回目までにデジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 |
| | | 14週 | H8マイコンを用いた設計14 DCモータの速度制御システムの設計と評価 | 14回目までにデジタルフィルタの設計と評価の課題を解決する。 |
| | | 15週 | H8マイコンを用いた設計15 成果発表 | 成果発表により説明する能力を身につける。 |
| | | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|-------|---------------|------------------------------|---|-------|-----|
| 基礎的能力 | 工学基礎 | 工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法) | 物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。 | 3 | |
| | | | 実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。 | 3 | |
| | | | 実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。 | 3 | |
| | | | 実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。 | 3 | |
| | | | 実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。 | 3 | |
| | | | 実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。 | 3 | |
| | | | 実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。 | 3 | |
| | | | 実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。 | 3 | |
| | | | 個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。 | 3 | |
| | | | 共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。 | 3 | |
| | | | レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。 | 3 | |
| 専門的能力 | 分野別の専門工学 | 電気・電子系分野 | キルヒホッフの法則を用いて、直流回路の計算ができる。 | 3 | |
| | | | 合成抵抗や分圧・分流の考え方を用いて、直流回路の計算ができる。 | 3 | |
| | | | ブリッジ回路を計算し、平衡条件を求められる。 | 3 | |
| | | | 電力量と電力を説明し、これらを計算できる。 | 3 | |
| | | | 正弦波交流の特徴を説明し、周波数や位相などを計算できる。 | 3 | |
| | | | 平均値と実効値を説明し、これらを計算できる。 | 3 | |
| | | | 正弦波交流のフェーザ表示を説明できる。 | 3 | |
| | | | R、L、C素子における正弦波電圧と電流の関係を説明できる。 | 3 | |
| | | | RL直列回路やRC直列回路等の単エネルギー回路の直流応答を計算し、過渡応答の特徴を説明できる。 | 3 | |
| | | | RLC直列回路等の複数エネルギー回路の直流応答を計算し、過渡応答の特徴を説明できる。 | 3 | |
| | | 計測 | A/D変換を用いたデジタル計器の原理について説明できる。 | 3 | |
| | | | オシロスコープの動作原理を説明できる。 | 3 | |
| | | | システムの過渡特性について、ステップ応答を用いて説明できる。 | 3 | |
| | | | システムの定常特性について、定常偏差を用いて説明できる。 | 3 | |
| | | 制御 | システムの周波数特性について、ボード線図を用いて説明できる。 | 3 | |
| | | | フィードバックシステムの安定判別法について説明できる。 | 3 | |
| | | | | | |
| | 分野別の工学実験・実習能力 | 電気・電子系分野【実験・実習能力】 | オシロスコープを用いて実際の波形観測が実施できる。 | 4 | |
| | 電気・電子系【実験実習】 | 電気・電子系の実験を安全に行うための基本知識を習得する。 | 4 | | |
| | | 論理回路の動作について実験結果を考察できる。 | 4 | | |
| | | デジタルICの使用方法を習得する。 | 4 | | |

評価割合

| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | レポート | 合計 |
|---------|----|----|------|----|---------|------|-----|
| 総合評価割合 | 0 | 10 | 0 | 20 | 0 | 70 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 専門的能力 | 0 | 10 | 0 | 20 | 0 | 70 | 100 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |